

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組		番号		名前	
---	--	----	--	----	--

【「言葉」を問う問題】

- 1 次の文の「」のカタカナを漢字で書く場合、正しいものを1～4の中から、えらびましよう。

レベル4

シン|実は、一つとはかぎらない。

4	3	2	1
心	真	深	神

- 2 次の文の「」の漢字の読み方を、に書きましょう。また、その読みが、「音読み」と「訓読み」のどちらの読み方か、書きましょう。

レベル6

バスに|乗車する。

読み方

音・訓

- 3 次の文の「」線部に対する主語をぬき出して書きましょう。

レベル6

(1) きのう わたしは、学校の帰り道で タヌキを 見た。

(2) ぼくは、遠足で 食べた お弁当が、とても おいしかった。

〔4〕 次の文章の「ア・イ」にあてはまる「こそあど言葉」を、あとの1～4の中から、それぞれ一つえらんで書きましょう。

レベル4

（1） お母さんが、ぼくの大好きな牛肉すを使って、料理りょうりを作ってくれた。ぼくは、**ア**を、涙なみだを流しながら、おいしく食べた。

（2） 今、校庭で体育をしている。わたしは、**イ**に、歩いてきた。

4	3	2	1
それ	この	ここ	そこ

ア

イ

〔5〕 次の文の線部がくわしくしている言葉としてあてはまるものを、線部から一つえらんで書きましょう。

レベル5

（1） 今日けふの給食きふしよくは、きのうと比べて量りょうが多おほかった。

（2） かわい子こ犬いぬが公園こうえんを元氣げんきに走はしっている。

〔6〕 次の□の中の漢字の「へん」と「へんの名前」を、あとの□に書きましょう。

レベル4

服

へん

へんの名前

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

- 1 宮本さんのクラスでは、学校のお気に入りの場所について発表することになりました。宮本さんと多田さんのやり取りを読んで、あとの問いに答えましょう。

【宮本さんの発表】

わたしのお気に入りの場所は、北校しゃと南校しゃの間にあるなかよし広場です。なかよし広場がすきな理由は、二つあります。

一つ目は、気持ちのよさです。しばふが植えられているので、夏はすずしく、冬はあたたかく感じます。そして、まわりに木や花があるので、きせつを感じることができます。木かげで休んだり、しばふの上を思い切り走り回ったりすることもできます。

二つ目は思い出の場所だということです。しばふの上にビニールシートをひいて、図書館でかりた本をみんなで読んだことをおぼえていますか。みんなとさらになかよくなれました。

このように、なかよし広場は、わたしにとって、お気に入りの場所です。これからも、この場所でたくさんさんの時間をすごし、いろいろな思い出を作っていきたいと思います。

【多田さんのアドバイス】

宮本さんの話を聞いて、なかよし広場を気に入っている理由がよく伝わってきました。よくたちに、話しかけるように発表していたのも、とてもよかったです。

ぼくも、クラスのみんなで、本を読んだことは、とてもいい思い出です。本を交かんして読み合ったり、本の感想を話したりして、さらに友だちとなかよくなれたと思っています。そのことをもう少し詳しく話してみてもいいでしょう。

【宮本さんのメモ】

◎理由

◎話しかけるように

△思い出くわしく ↓どうしてなかよくなれたか

（1）宮本さんは多田さんのアドバイスを聞いて、【宮本さんのメモ】を書きました。
宮本さんは、自分の発表にどんな話をつけくわえようと考えましたか。
もつともふさわしいものをア～エの中から一つえらびましょう。

レベル7

ア クラスの友だちとなががいこと。

イ しばふのおかげで転んでもいたくないということ。

ウ いっしょに本を読んで、クラスの子とさらになかよくなれたこと。

エ 木があるおかげで、冬はつめたい風をふせぐことができるということ。



（2）多田さんが、アドバイスした理由として、もつともふさわしいものをア～エの中から一つえらびましょう。

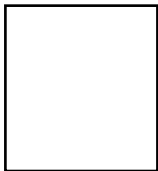
レベル7

ア 理由を二つに分けて話していたのが、わかりやすかったと伝えたかったから。

イ 「さらになかよくなれた」理由をつけくわえれば、宮本さんの気に入っている理由がより伝わると思ったから。

ウ 宮本さんの話をもつと聞きたかったので、話を長くする方法を教えたかったから。
ほうほう

エ 宮本さんに、自分の楽しかった思い出を伝えたかったから。



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【「書くこと」を問う問題】

1 次のA～Dの文章を読んで、問いに答えましょう。

A 本番、ステージにあがると、心ぞうがどきどきして、リハーサルの事を思い出すときんちようしました。でも、先生が「大じようぶだよ。」というように、につこりわらってくれたので、少し安心しました。

B 練習が始まったところは、なかなかうまくできなくて、本当にできるようになるのかなと、ふあんでした。でも、休み時間に友だちと練習したり、家でも練習したりして、少しずつできるようになりました。前日のリハーサルでは、何度も練習してきたところがうまくできなかったので、発表でうまくえんそうできるか心配していました。

C 今日は、待ちに待った音楽会でした。わたしたちは、合しようと、リコーダーを使った合そうを発表しました。

D えんそうが始まると、みんなの心が一つになったような気がした。今までの練習してきたせいかが出て、一番よかったと思います。お客さんからも大きなはく手をたくさんもらって、とてもうれしかったです。

（1） A～Dを、文章が続くようにじゅんばんにならびかえましょう。

レベル5

↓ ↓ ↓

（2） —— 線部を、他の文章の表げんに合わせて直しましょう。

レベル7

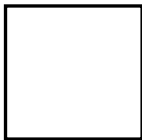
2

次の文章は、プールに行ったことについて書いた作文の一部です。この文章の表げんの工夫についてせつ明したものととして、もつともふさわしいものをあとの①②③④の中から一つえらびましょう。

レベル7

今日は、朝から太陽がきらきらとまぶしく、目を開けているのがやっとなでした。プールに行きたいと思っていたので、「プールに行こう。」と言われたときは、うれしくて、とびはねてよろこびました。プールに行くときに、道にさいていたひまわりが、まるで太陽に向かってせいくらべをしているようでした。

- ① 太陽のまぶしさを、音を使って表げんしている。
- ② 夏の暑さを、くり返しをつかって表げんしている。
- ③ ひまわりのさいている様子を、たとえをつかって表げんしている。
- ④ ひまわりのさいている様子を、ことわざをつかって表げんしている。



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

【「読むこと」を問う問題】

1

次の文章を読んで問いに答えましょう。

ありには、ある年、たくさんな子供こどもが生まれました。それらの子供のありは、だんだんあたりを遊びまわるようになりました。するとあるとき、それらの子ありのお母さんは、子供らに向かっていいました。

「おまえがたは、あのくるみの木に上つてもいいけれど、けつして、赤くなつた葉につかまつてはならぬぞ。いまは、ああしてどの葉を見ても、真つ青だけれど、やがて秋になると、あの葉が、みんなきれいに色がつく、そうなると危あぶないから、きつと葉の上にとまつてはならぬぞ。」と、※①戒いましめたのでありました。

ある日のこと、五匹ごびきの子ありが外に遊んでいて、大きくなるみの木を見上げていました。「なんとという大きな木だろう。こんな木が、またとほかにあるだろうか。」と、一匹のありがいました。

「まだ世界には、こんな木がたくさんあるということだ。これより、もっと大きな木があるということだ。」と、ほかの一匹の子ありがいました。

「お父さんや、お母さんは、あの木のでつぺんまで、お上りになつたといわれた。僕ぼくたちも、どこまでいけるか上つてみようじゃないか。」と、ほかの一匹のありがいました。

ついに五匹の子ありは、大きくなるみの木に上つていきました。そこで、※②中途ちゅうとまでいった※③時分つかには、五匹とも疲つかれてしまつて、しばらく、枝えだの上に休んで、物珍ものめずらしげに、あたりの景色けしきなどをながめていました。

※①戒め…注意すること

※②中途…とちゅう

※③時分…おおよその時期、時間

（出典 小川未明 「三匹のあり」より）

（1） 「つかまってはならぬぞ。」とありますが、お母さんありがたいっている葉の色は何色ですか。

レベル 5

--

（2） 「こんな木」とありますが、何の木を見て言っていますか。文中から三字でぬきだして書きましょう。

レベル 7

--

（3） 「ついに五匹の子ありは、大きくなるみの木に上っていきました。」とありますが、木に上ったのはなぜですか。次の 1 ～ 4 の中からえらびましょう。

レベル 7

- 1 世界にある、もっと大きな木を見つけようとしたから。
- 2 お父さんや、お母さんのように上れるかためしたかったから。
- 3 疲れてしまって、枝の^{えだ}上に休みたかったから。
- 4 物^{もの}珍^{めづ}しげに、あたりの景色^{けしき}などをながめたかったから。

--